

令和 7 年 2 月 26 日

世田谷区立祖師谷小学校
校長 小俣 和也 様

世田谷区立祖師谷小学校学校
関係者評価委員長 石塚昌代

学校関係者評価報告書

令和 6 年度 祖師谷小学校関係者評価の結果を下記の通り報告いたします。

記

I. 《学校関係者評価アンケートを通して》

今年度のアンケートは、ウェブ回答が定着し、60%を超える回答をいただくことができました。お忙しい中アンケートに回答いただいた皆様に感謝申し上げます。

アンケート調査回答の「とても思う」「思う」をプラス評価とし、「あまり思わない」「思わない」をマイナス評価と捉えたところ、プラス評価は増加、マイナス評価は減少する結果となり、昨年度より一般的に児童・保護者・地域から、高い評価を得ることができました。

この評価を通して、祖師谷小学校の地域との連帯感や保護者からの信頼感がより一層高まり、子どもたちの学校生活がさらに充実するよう心から願います。

アンケート回収率： 保護者 60.1%

【プラス評価の高かった項目について】※児童・保護者・地域の「とても思う」+「思う」%

— 児 童 —

◇授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	95.0%
◇先生たちは、ていねいに指導してくれる。	94.5%
◇学校行事は楽しい。	94.1%

児童の学ぶ意欲に対し、先生のていねいな指導のもとでインプットだけでなく自発的なアウトプットも行える環境で、友だちと意見交換し共感・認め合うことができている。

— 保 護 者 —

◇学校行事は、子どもにとって楽しい。	94.9%
◇本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	94.6%
◇学校行事は、子どもにとって達成感がある。	93.4%

保護者は、学習と並んで学校の教育に欠かせない行事が充実していることにより、児童が行事に向けて取り組み達成する姿勢を、信頼感を持って温かく見守り、高く評価している。健全な教育活動の様子が分かり保護者の安心感につながっている。

— 地 域 —

◇学校の重点目標が明確である。	100%
◇学校行事の内容は充実している。	94.1%
◇学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。	94.1%

地域の方には、行事を通し例年同様の高い関心と温かいご協力をいただいている。この直接的な関りが、子どもたちの成長を感じられる貴重な機会になっている。地域とともにある祖師谷小学校の姿を引き続き大切に継承していったほしい。

【プラス評価の比較的低かった項目について】※児童・保護者・地域の「あまり思わない」+「思わない」%
— 児 童 —

◇学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	23.4%
◇先生たちに相談できる。	19.9%

児童は学び舎の交流について直接関わった実体験が増えた学年もあり、大幅な改善となった。一定の児童だけでなく、広く周知されるよう工夫していくことが必要と思われる。児童は社会的な環境変化に適応し、先生との信頼度が高まり距離が縮まった。こちらも改善されている。引き続き創意工夫し、子どもたちが温かい人間関係を醸成できるよう寄り添っていくことが、望まれる。

— 保 護 者 —

◇私は、今年度の学校重点目標を理解している。	35.5%
◇「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。	34.0%

重点目標の理解、ならびに「学び舎」の情報提供について、どちらも昨年より改善傾向にある。保護者は重点目標をお便りで目にするものの理解を深めるまでに至っていない。保護者に重点目標を理解いただき、同じ方向を向き子どもたちを支えられるよう今後も更に継続して情報発信に工夫していただきたい。

— 地 域 —

◇通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	47.1%
◇「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	35.3%

今年度残念ながら地域の方から交通ルールについて、否定的評価が増加してしまった。学校で快活になった児童は登下校時に安全意識が下がっていると地域の方は感じている。学校からの指導、保護者の模範姿勢、地域の見守りにより安全意識を高めていってほしい。

地域の方は学び舎の活動について、情報提供が十分と言えないようだ。理解いただける場や、情報発信の工夫に努めてほしい。

【「分からない」評価の比較的多かった項目について】※児童・保護者・地域の「分からない」%

◇区立中学校に関する情報が提供されている。	児童 28.4%
◇5・6年生で一部教科担任制を取り入れ、 子どもの学習意欲を高める工夫をしている。	保護者 44.3%
◇学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	地域 17.6%

児童は区立中学校や「学び舎」についての情報の理解が十分ではないと感じている。地域の方は、運営委員会の活動や役割を見出す機会が少なく感じている。情報発信の工夫や、交流の機会を設けるなど肯定意見につながる工夫を期待したい。

Ⅱ. 《その他の評価と課題》

今年度の特徴として学校行事の充実があげられる。ただ増えただけでなく、先生方の事前準備やサポート体制、学び舎の交流機会などがプラス評価の増加につながった。

「学び舎」に関しては、区立中学校へ児童がおもむき直接学校の様子を知る機会を持てたことが理解を深めた。「キャリア教育」に関しては、様々な社会の先人に直接話を聞く機会を増やすことにより視野の広がりにも寄与している。

教育活動の向上・充実が、わかりやすい情報提供により理解されたことで、評価の改善として明確な結果に出た。

ぜひ更なる理解につながるよう、創意工夫を期待します。

～学校関係者評価委員～

評価委員長	石塚 昌代	(元PTA副会長)
評価委員	高橋 丈夫	(成城学園初等学校校長)
評価委員	毛受 直子	(新 BOP 事務局長)
評価委員	飯田 しのぶ	(卒業生保護者)
評価委員	福田 伸子	(在校生保護者)

